



お元気ですか？看護師です

こちらは、区ホームページ「就学前のお役立ち情報」でご覧いただけます↓



夏本番の時期となりました。水分補給をこまめに行ったり、環境庁の熱中症予防情報サイトで暑さ指数を確認して、活動をしたりして熱中症対策をしっかりと行って暑い夏を健康に過ごしましょう。今年は、子どもたちの夏の感染症が数年ぶりに大流行しています。症状を早期に発見して早期回復につなげていきましょう。



🍉 乳幼児に多い夏の感染症 🍉



【手足口病】 乳幼児の間で流行する夏かぜの一種で咳やくしゃみなどの飛沫から感染します。手足・口の中・お尻・膝に発疹が出るほか、発熱もみられます。

【ヘルパンギーナ】 38.0 度以上の突如の発熱、口の中にできる水泡が主な症状です。口の中やのどの痛みのため、不機嫌・食欲不振・脱水をおこす場合があります。けいれんにも注意しましょう。



【フェール熱(咽頭結膜熱)】 感染力が強く、唾液・鼻水・目やに・便などが感染源です。高熱・のどの痛み・結膜炎・頭痛などの症状がみられます。

これらの他にも『RSウイルス感染症』が大流行しています。RSウイルス感染症は、鼻水・咳・発熱などのかぜ症状が現れます。中には肺炎や気管支炎を発症することもありますので注意が必要です。そのため乳幼児期はいつもと違う様子があった場合、受診をしましょう。この時、食欲・機嫌・便や尿の様子や回数・咳がどのような時にどのくらい出るか・よだれの量が多いなどいつもの様子と違うところを具体的に伝えることで迅速な診断につながります。悪化を防止して、早期治療・早期回復のために上手に診察を受けることが大切です。



🕒 夏かぜの原因であるウイルスの多くは、腸内に入り増殖します。元気になってからも1か月以上便から排出されます。そのためおむつ交換時は、交換したおむつの処理と手洗いをしっかり行いましょう。

また、発疹や水泡の接触や、くしゃみや咳による飛沫からの感染予防も大切です。

・・・ 感染予防に大切なこと・・・

- こまめな手洗いをしましょう。
- タオルやコップの共有をさけましょう。
- 感染症の流行時期は、おもちゃの共有をさけましょう。

